

安全確認チェックリスト

【 19 弓道 】

競技会名	
期 日	年 月 日 ()
会 場	
記載者名	

区分	確認項目	✓
施設・設備・用具	＜施設・設備＞	
	施設の外に矢が飛び出さないように防矢ネットなど対策がされているか	
	観覧席に矢が飛び込まないように防矢ネットなどの対策がされているか	
	防矢ネットに穴やほころび、隙間等がないか	
	看的表示板の隙間から看的小屋に矢が飛び込まないようにアクリル板など設置されているか	
	矢取り中であることを表示する赤旗または赤色灯は設置してあるか	
	安土に矢が刺さる状態になっているか	
	巻藁練習時に、巻藁は安全な場所に設置されているか	
	巻藁練習時に、矢の跳ね返り防止対策として巻藁の後方に畳などが立てかけてあるか	
	巻藁が古くなり中央部分が堅くなり、矢が跳ね返ることはないか	
	巻藁は、高さが違うものが設置されているか	
	＜用具・弓＞	
	弓の籐は完全に巻いてあるか	
	弓と弦の間隔は15cmあるか	
	弦の中仕掛けは、筈に密着するように巻いてあるか	
	極端な入り木や出木の弓は使わないこと	
	弓にひび割れや異常はないか	
	弓の弦道は適切か	
	弓の握革はきちんと巻いてあるか	
	＜道具・矢＞	
	矢は自分の矢束の長さより10cm以上長い矢を使用しているか	
	矢に傷、歪み、筈にひび割れなどがないか	
	矢に板付きや筈があるか	
	矢に羽が3枚付いているか	
	矢は弓力に合わせて太さや重さが適切か	
	＜用具・碟＞	
	かけ紐をピン止めなど(金具等器具)を使用しないこと	
	かけ紐は小さく結んであるか	
	碟は自分の手の大きさに合っているか	
	＜用具・ゴム弓＞	
	ゴム弓のゴムに切れや緩みはないか	

区分	確認項目	✓
施設・設備・用具	<服装>	
	胸にポケットやボタンなどのあるものを着用しないで弓道着や運動着を着用しているか	
	長い髪を弦で払わないように、鉢巻き等でとめてあるか。ピンで留める場合は必要最低限でとめること	
	ピアスやネックレス、腕時計、ブレスレットなどの装飾品は着用しないこと	
活動内容	<全般>	
	的前に立つ場合は、指導者の指示に従っているか	
	危険防止について共通理解をしているか	
	<的前で弓を引くとき>	
	弓を引く前に、弓具の点検をしているか	
	弓を張るときは、弓張り板を使用しているか	
	弓を引いている射手には近づかない（特に射手後方の手が届く範囲まで）	
	自分の立つ位置と前の射手の間隔は、150cm以上あるか	
	矢は的前用の矢を使用しているか 羽のない矢は絶対に使用してはいけない	
	矢番えの位置は適切か 特に低い位置にはなっていないか	
	前の射手の弓と弦の間に自分の弓を入れないように注意しているか	
	他人に矢を向けて矢番えをしないことを守っているか	
	他人に向けて弓を絶対に引かないようにしているか（まねでもいけない）	
	<矢取りをするとき>	
	看的小屋から顔を出さないようにしているか	
	矢取りに入る際、道場側と安土側で声を出して確認をしているか	
	赤旗を出してから、矢取りに入っているか	
	矢道・安土に人がいるときは、矢番えや取懸けをしないことを守っているか	
	弓を再び引き始める合図(かけ声)をしてから、再開しているか	
	<巻藁で練習するとき>	
	巻藁練習をする際に、巻藁後方、左右に人がいないことを確認しているか	
	巻藁から約2mほど離れた位置から引いているか	
	巻藁練習をする際に、自分の身長にあう高さの巻藁を使用しているか	
	巻藁を練習している人や巻藁に近づかないようにしているか	
	巻藁から矢を抜く際、左右の人が引いていないことを確認してから巻藁に近づいているか	
	巻藁から矢を抜く際、左手を巻藁に当て、右手は矢の根元を持ち後方を確認してから抜いているか	
	<ゴム弓で練習をするとき>	
	ゴム弓で練習する際は、前後左右に近くに人がいないことを確認して行っているか	
	ゴム弓のゴムに切れや緩みはないか確認しているか	
	<素引きをするとき>	
	素引きで練習のとき、暴発しないようにしっかりと右手の3指で弦を引いているか	
	矢束の半分以上引いての空打ちはしないことを守っているか	
	<観客者への注意>	
観客者がカメラのフラッシュ撮影をしないように注意をしているか		

区分	確認項目	✓
環境条件等	熱中症対策として、こまめに水分補給を行っているか	
	雷鳴や雷があった場合、観客者等は屋内に避難しているか	
	雷鳴や雷があった場合、屋外で行射している場合は一時中断しているか	
	豪雨(雹)が発生した場合は、観覧者等は屋内に避難し、行射を一時中断しているか	
	火災発生時には、速やかに行射を中断し、避難場所に避難しているか	
	冬季での行射は、手が冷えて手の内が作りにくくなるので、手を温めるなど対策をしているか	
発令アラート対応	主催者や指導者がJアラート発令時の対応を確認し、参加者等に周知しているか	
	顧問不在時など想定される様々な場面での避難方法を、生徒等に指導しているか	
	情報の収集や保護者への連絡方法を確認し、名簿等を準備しているか	

反省・報告(事故、ヒヤリ・ハット含む)